

2 2 陳 情 第 1 2 号	新宿区立中央図書館の移転に伴う地域図書館空白地帯の解消に関する 陳情
付 託 委 員 会	文教委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成 2 2 年 3 月 1 5 日 受 理、 平 成 2 2 年 3 月 1 5 日 付 託
陳 情 者	新宿区下落合————— —————代表 —————外——名

(要 旨)

中央図書館移転後に空白地域を作らないため、中央図書館の跡地の活用も含め、地域図書館をつくって下さい。

(理 由)

新宿区立中央図書館は、区内における最大規模の図書館として、また地域の文化的拠点として、子どもから大人まで、多くの区民に親しまれ幅広く利用されてきました。この中央図書館は、旧戸山中学校跡地に移転・新築されることが決まっています。しかし、その後現在の中央図書館がどのようになるか明らかになっておらず、地域の人達は図書館がなくなってしまうのではないかと不安を募らせています。

中央図書館内にあるこども図書館は、未就学児が初めて絵本に触れる場、読み聞かせのおはなし会の場、小学生の放課後の宿題・調べ学習の場などの多くの大切な役割を果たしています。つまり、安心して本とのふれあいができ、私たちの暮らしにはなくてはならない空間となっています。私たちは地域に密着した図書館を切に求めています。

現在の中央図書館が閉鎖した場合、かねてから空白地帯であった中井・中落合に加え、また今回新たに上落合・下落合・高田馬場などがまさに図書館の空白地帯となってしまう、「文化的空白地帯」の恐れさえ懸念されます。本離れの危機が子どもはもとより大人も叫ばれている今日、このような事態を何としても回避したいと考えます。私たちは現中央図書館・こども図書館の利用者としての要望を上記のとおり提出し、議会で審議していただきたくここに陳情いたします。